

2019年11月16日

東京都主催
学生向け金融セミナー

世界と日本の経済情勢



本資料に記載されているデータ等は信頼に足り、かつ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当該情報の利用による投資等の損益はすべてお客さまに帰属します。

1965年神戸市生まれ、千葉県松戸市出身。小学2年生から國學院高校時代までは剣道、信州大学経済学部入学後は夏のバイク、冬のスキーに没頭。

1988年4月、新日本証券(現みずほ証券)入社。営業店、企画部門、人事部門に従事。福井、奈良、横浜西口、池袋西口の4店舗での支店長も含め、30年に渡る証券マン人生の大半を富裕層個人と公益法人の資産運用と中堅・上場法人RMに携わる。

2011年東日本大震災を機に「真にお客さまのお役に立ち、社員が自分の仕事に誇りを持って生き生きと働く会社を創りたい」と起業を志し、2017年12月末みずほ証券を退職、2018年3月創業。全国107名しかいない、日本証券アナリスト協会認定シニア・プライベートバンカー。

会社名	株式会社WealthLead (ウェルスリード)	【事業内容】
所在地	東京都港区新橋3丁目9-10天翔新橋ビル404号	➤ 資産運用コンサルティング ➤ 事業承継・M&Aアドバイザー ➤ 投資教育 ➤ 企業年金導入支援 ➤ セミナー・講演
代表者	代表取締役 濱島成士郎	
登録	投資助言・代理業（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第3038号	
資本金	500万円	
開業	2018年3月1日	
HP	https://www.wealthlead.co.jp/	
加入団体	一般社団法人 投資顧問業協会	
取引銀行	三菱UFJ銀行新橋支店	
連絡先	TEL : 090-2647-9488	
	MAIL : hamashima@wealthlead.co.jp	

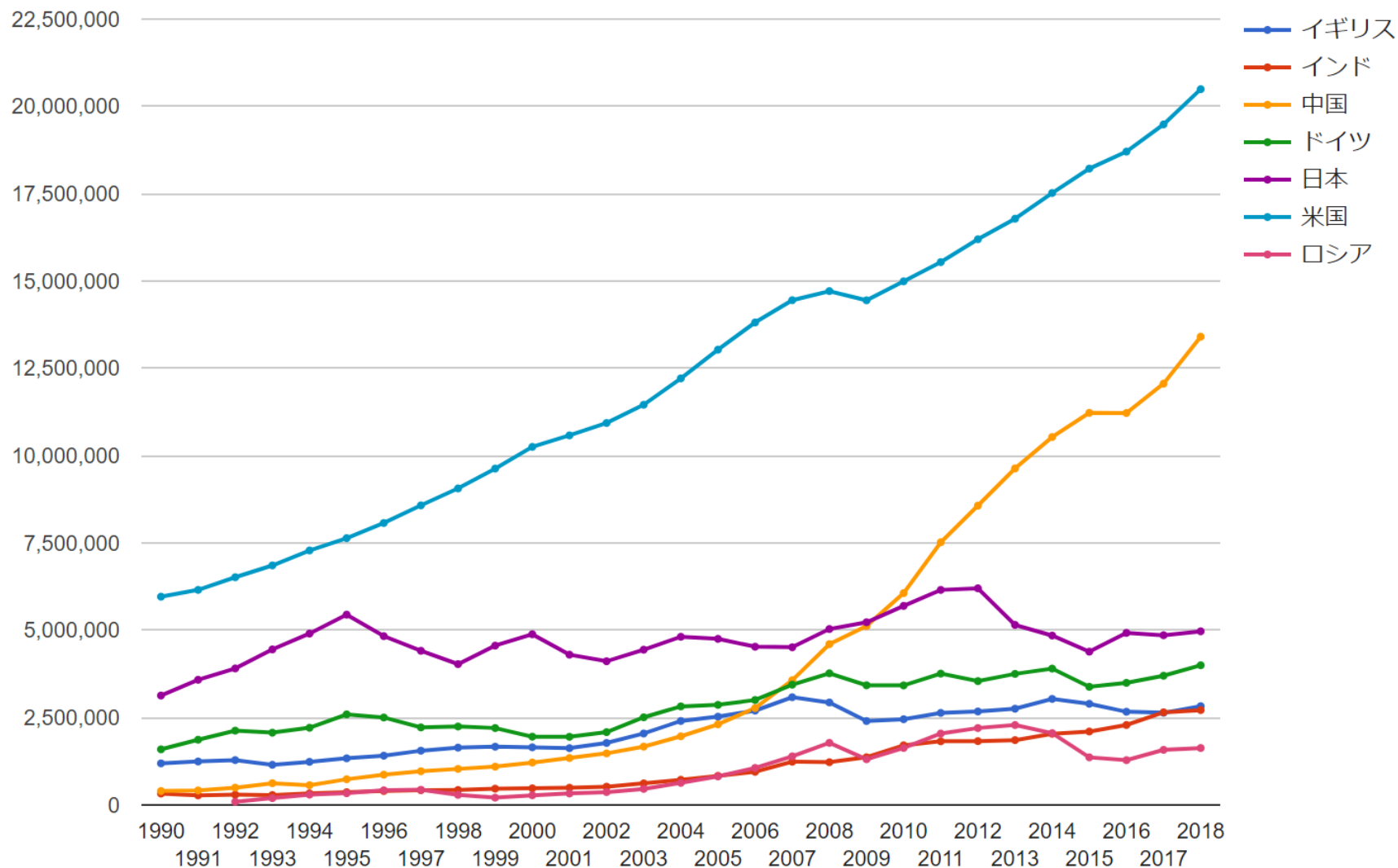
グループ自己紹介&リーダー決め

**自己紹介は
1人1分厳守!!**

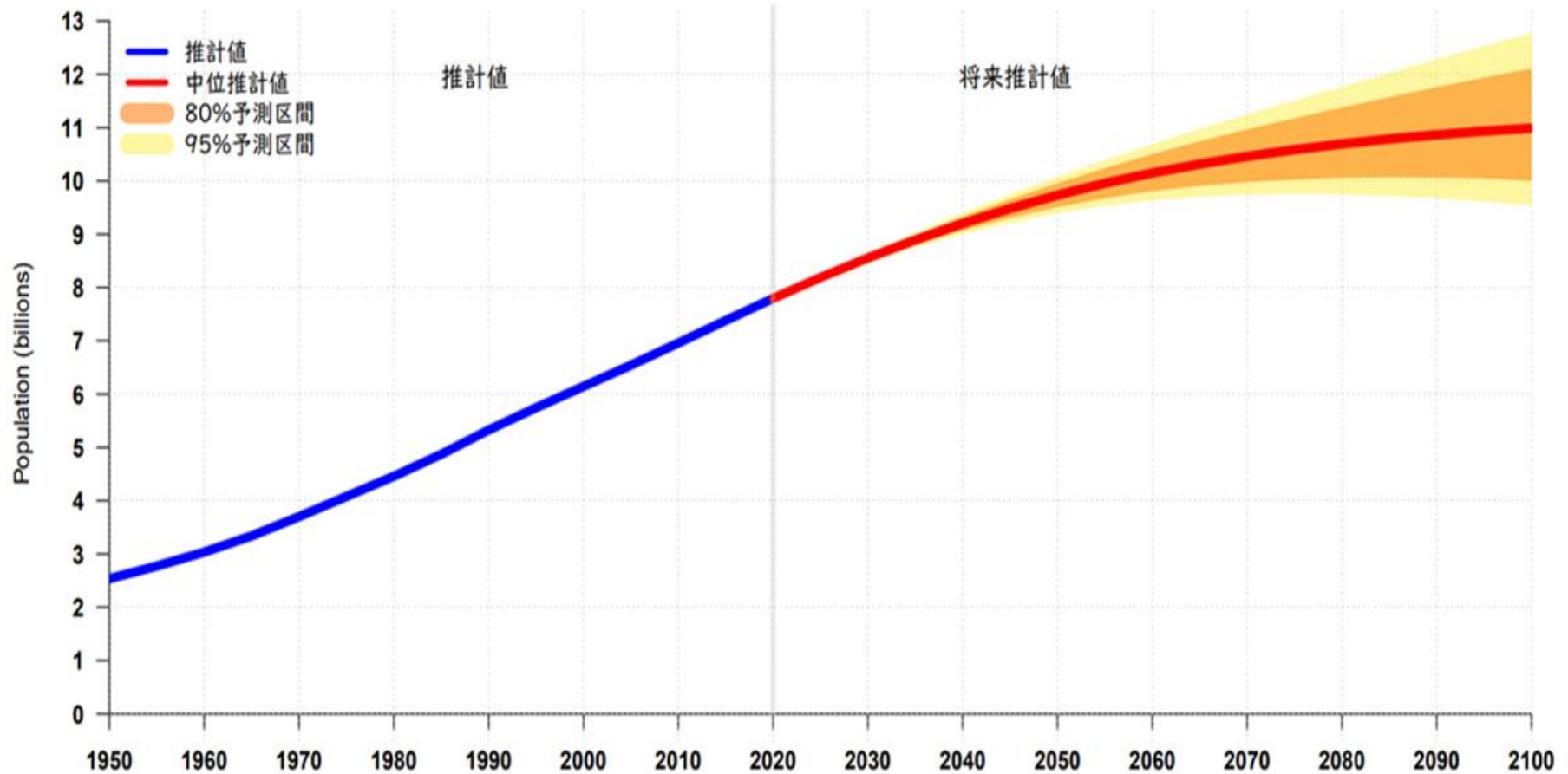
- ①名前
- ②ニックネーム（こう呼んで欲しい）
- ③お金関係で努力していること
- ④リーダー決め
誕生日が一番大きい人（1日～31日）

リーダーはグループ内の
進行をお願いします！

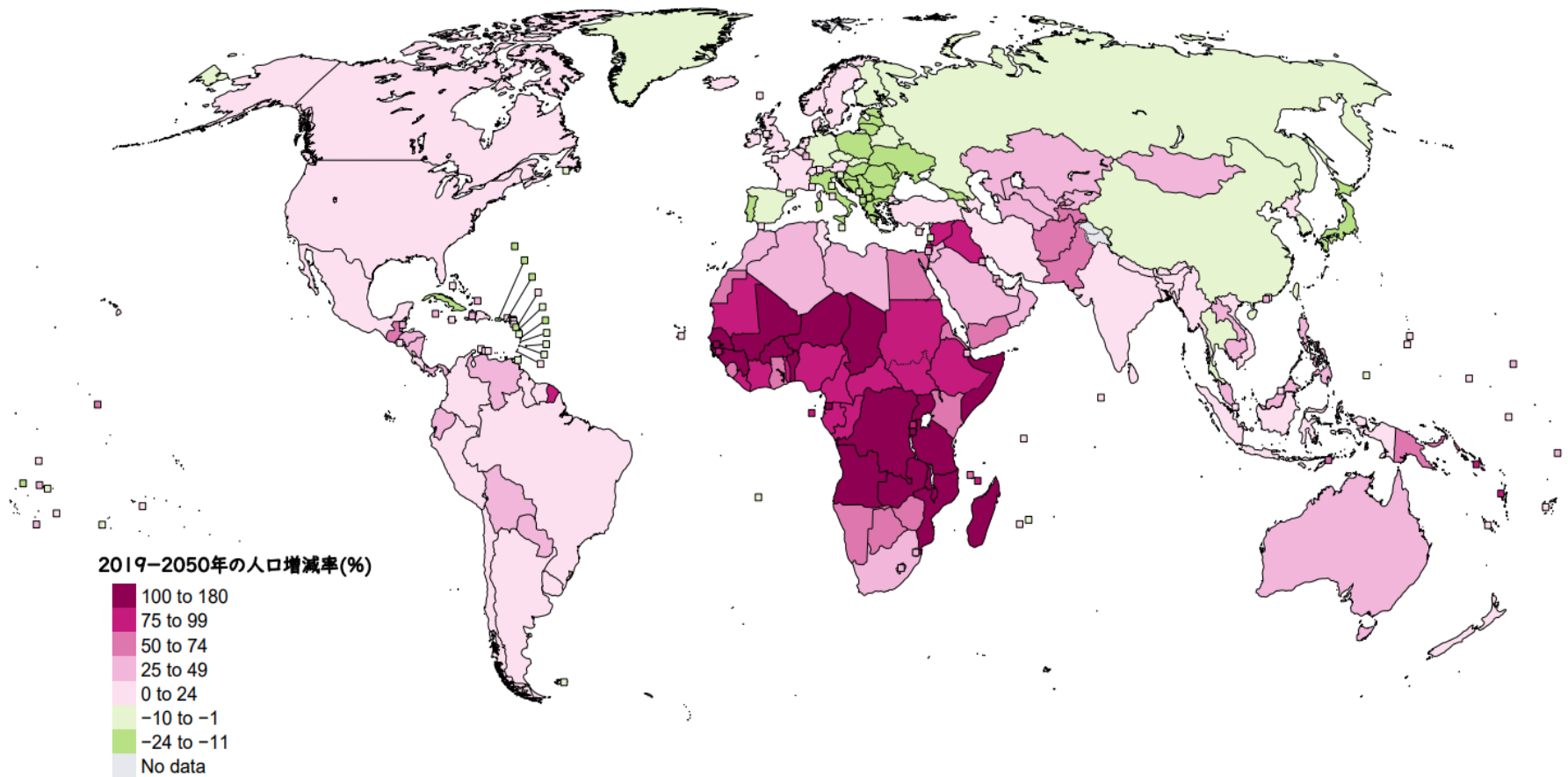




出展:IMF 資料:GLOBAL NOTE



出所:世界人口推計2019年版 (国連経済社会局)



出所:世界人口推計2019年版 (国連経済社会局)

<1996年12月末>

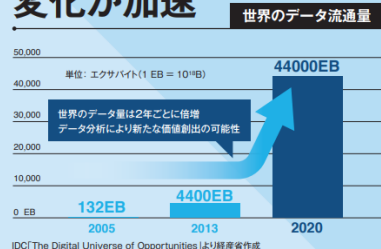
	企業名	時価総額 (億ドル)
1	GE	1,628
2	コカ・コーラ	1,310
3	エクソンモービル	1,217
4	NTT	1,208
5	トヨタ自動車	1,087
6	インテル	1,074
7	マイクロソフト	987
8	メルク	957
9	ロイヤルダッチ石油	940
10	アルトリアグループ	921

<2019年9月末>

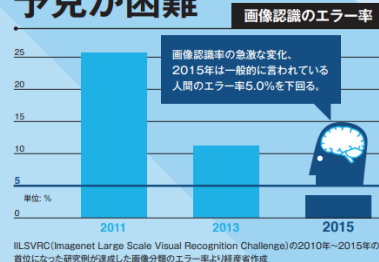
	企業名	時価総額 (億ドル)
1	マイクロソフト	10,651
2	アップル	10,121
3	アマゾン	8,586
4	アルファベット	8,459
5	バークシャーハサウェイ	5,097
6	フェイスブック	5,080
7	アリババ	4,326
8	テンセント	4,077
9	JPモルガン	3,763
10	ジョンソン&ジョンソン	3,414

出所:各種データより弊社作成

従来にないスピードで 変化が加速



非連続的な技術革新により 予見が困難



労働力人口減少を補う
生産性向上、賃金上昇

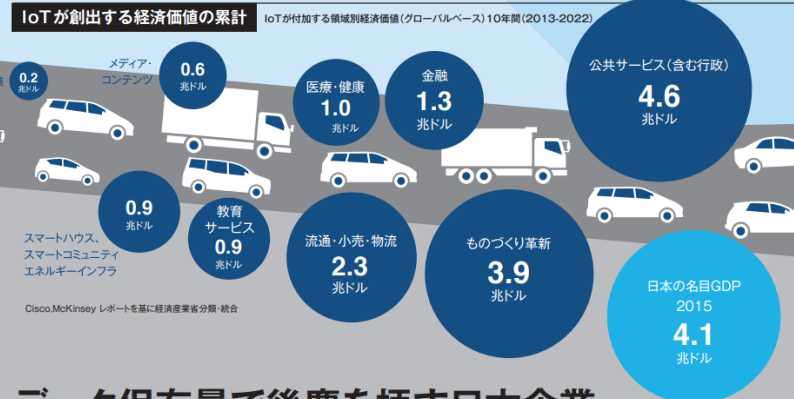
新たなサービス・製品創出による
社会課題の解決、グローバルな
市場・付加価値の獲得

ソフトも含めた破壊的
イノベーションの実現

世界の リーダー

痛みを伴う転換か安定を求めたジリ貧か、日本の未来をいま選択。

IoT がもたらす日本経済約 4 個分の経済価値



産業の再編、
雇用の流動化

第4次産業革命の
2つのシナリオ

現状ルート

機械化・デジタル化による
雇用機会の喪失、賃金の低下

海外のプラットフォームの上で、
我が国産業が下請け化

データ保有量で後塵を拝す日本企業

月間利用者数(≒データの保有量)



新産業構造ビジョンとは

自然や社会のあらゆる活動の情報がデータ化され、AI 等で解析がより深くより容易になることで、新たなサービス・製品の創出による社会課題の解決、市場の拡大が想定される。たとえば、囲碁でトッププロ棋士を破った AlphaGO のように、ビッグデータをディープラーニング(深層学習)等で解析・学習した革新技術は、破壊的イノベーションを実現する。

その価値創造の源泉たる「バーチャルデータ」の取得については第一幕として海外企業が支配。そして第二幕の「リアルデータ」についても欧米企業が先手を打ちつつある。しかしながら、対応次第では日本企業もまだリーダーの地位を獲得できるチャンスはある。いまこそ自らの強みを活かし、社会課題の解決と経済成長の両立に繋げる転換をするべきではないだろうか。

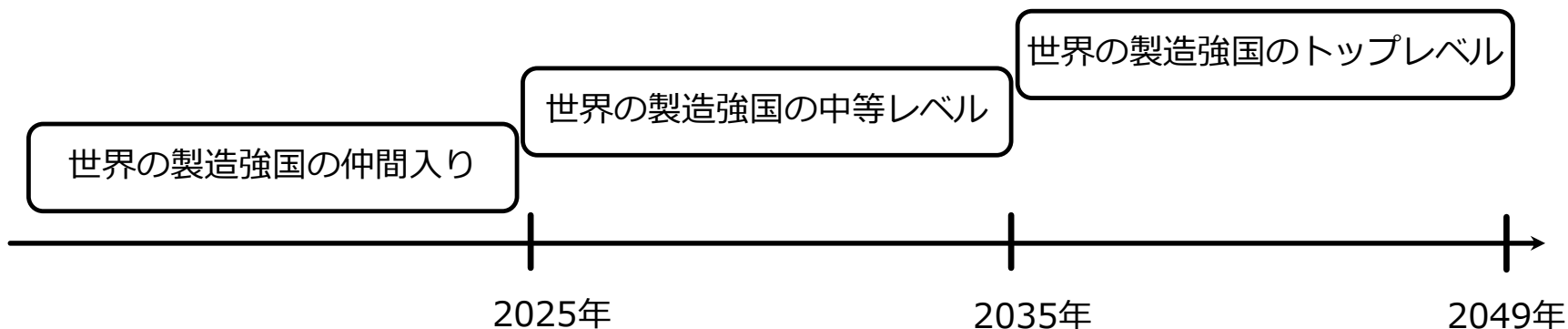
<5つの基本方針>

イノベーション駆動・品質優先・グリーン発展・構造改革・人材育成

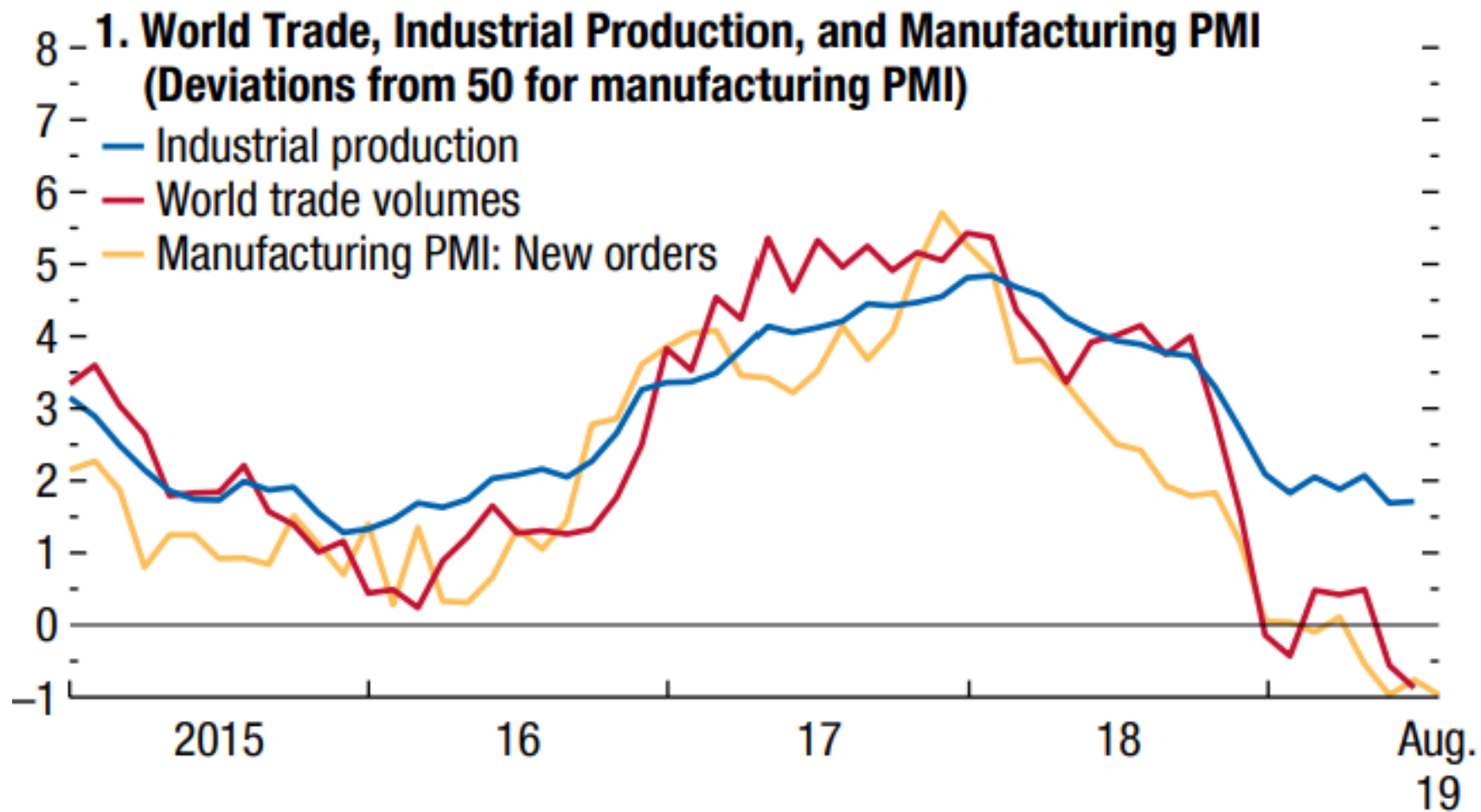
<10の重点分野>

次世代情報通信技術	省エネ・新エネルギー自動車
先端デジタル制御機械・ロボット	電力整備
航空・宇宙整備	農業用機械設備
海洋建機・ハイテク船舶	新素材
先進軌道交通整備	バイオ医薬・高性能医療器械

<3つのステップ>



出所：各種資料より弊社作成



出典：WORLD ECONOMIC OUTLOOK2019年10月版（IMF）